

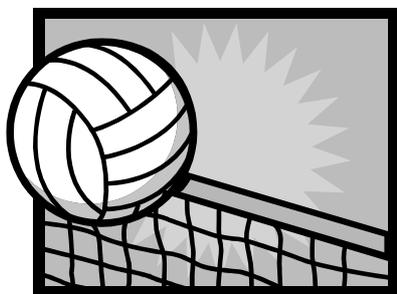
姫路市子ども会連合会

球技大会

バレーボール・ソフトボール・キックベースボール

改訂版(2019・06)

特別ルールブック



バレーボール試合方法および注意事項

- ※ **競技規則** 日本バレーボール協会の定める2019年度6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。

- ※ **チーム編成**
 1. チーム編成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名(控え選手を含む)とする。
 2. 主将はユニフォームにキャプテンマークをつけること。
(縦2cm、横8cm程度の目立つ色)

- ※ **審判** 主審・副審は主催者の委託を受けた者が就く。
ラインズマンは待機している各チームより子ども2名・得点係は子ども1名が担当する。

- ※ **競技方法** 変則リーグ戦方式で、3セットマッチ行う。
但し、1、2セットは、21点とする。
デュースの場合は、2点先取、もしくは25点のチームの勝ちとする。

- ※ **コート・ネット**
 1. 片側のコートの広さは、幅・長さ共に8m、ネットの高さは、2mとする。
 2. サービスゾーンの幅は8mとする。
 3. 両サイドバンドの外側の縁に接してアンテナを取り付ける。

- ※ **コート整備** 直前に試合終了した各チーム2名で行う。

- ※ **試合球** モルテン軽量4号検定球とする。(カラーボール)

- ※ **ローカルルール**
 1. 各チームは、試合開始前の3分間の公式練習を認める。
 2. 監督・コーチが試合中(プレー中)に席を離れ、選手に指示などすることは認めない。

- ※ **注意事項**
 1. スポーツマン精神に反する行為を監督・コーチ・プレーヤー等がしたとき、目に余る行為や野次・暴言・醜態(チーム関係者・応援も含む)は、当該試合没収も視野にいれて対処する。
 2. 競技開始後休憩時(試合待ち、昼食時含む)は、コート内での練習は禁止する。
 3. 開会式は屋外で行うため、選手は必ず帽子を着用する。
 4. 袖のないユニフォームは、選手の安全性を考慮し禁止とする。
 5. ユニフォームは揃えること。連合チームでやむを得ずユニフォームを揃えられない場合はこの限りでない。但し背番号は重複しないこと。
 6. 鉢巻きに付いては邪魔にならない様に短く結ぶこと。
 7. 試合中に競技場での写真撮影および往来は試合を中断させる恐れが有る為、関係役員・指導者以外の立ち入りを全面禁止とする。

- お願い!! 全ての選手の健全な成長と育成の為に良いプレーには敵味方関係のない拍手と応援をお願いします。

～バレーボール審判簡易マニュアル～

姫路市小学生バレーボール連盟

プロトコール(試合開始前、セット間及び終了後の手順)

| | |
|--------|--|
| 試合11分前 | チームキャプテンを呼んでトスを行い、サーブ又はコートを選ばせる。 |
| 10分前 | 公式練習 サーブ権を選んだチームから。(3分) コートを選んだチームと交代。(3分) |
| 4分前 | 公式練習をやめ両チームベンチに戻る。 |
| 3分前 | 全プレイヤーはエンドライン上に整列、主審・副審はサイドライン上に整列。 主審の吹笛で選手はネット付近で握手。その後、全プレイヤーはベンチへ。 |
| 1分30秒前 | 主審の吹笛でスターティングプレイヤーはベンチから直接コートに入り、副審は背番号をチェックする。 |
| 試合開始 | 主審の吹笛でサービスを行う。 |
| セット終了 | コート上のプレイヤーはエンドラインに整列。主審の吹笛で反時計回りにコートチェンジしてベンチに戻る。(2分30秒の休憩) |
| 2セット目 | 副審の吹笛によりプレイヤーはベンチから直接コートに入る。以後は同様に。 |
| | セットカウント1:1でフルセットになったらプレイヤーはベンチへ戻る。 (2分30秒の休憩)主審はキャプテンを呼んで再びトスを行いサーブ、コートを選択させる。 3セット目はいずれかのチームが8点目を先取した時点で主審の吹笛でコートチェンジを行う。 |
| 試合終了 | プレイヤーはエンドライン上に整列、主審・副審はサイドライン上に整列。 主審の吹笛でネット付近で握手。 ※チームキャプテンは主審・副審に感謝の握手をする。 |

◇タイムアウト……………1セット2回まで(30秒×2)

◇メンバーチェンジ…1セット最大6回

スターティングプレイヤーは交代によりコートを離れても、再度コートに入ることができる。ただし、コートに戻れるのは1セットにつき1度だけ。(A → B → A)

(注) A → B → C

○ × Aと交代したBはCとは交代できない。

〈 プレー上のルール 〉

○ダブルコンタクト(ドリブル)

1、2、3回目のうち、いずれもダブルコンタクトなし(小学生特別ルール)。
ただし、時間的に差がある場合は反則を取る。

○キャッチボール(ホールディング)

ボールをヒットせずに、つかんだりした状態の場合は反則を取る。

○サービスの8秒ルール

サービスの試技なし。その代わりに、主審の吹笛後、8秒以内にサーブを打てばよい。

○サービスのネットインはOK

○テクニカルタイムアウト

給水・休憩を行うことを目的として行うものである。

各セットに於いて、11点目を先取した時点でテクニカルタイムアウトを30秒間与える。

この間に監督・コーチ・指導者全てに於いて指導・指示を行ってはならない。

指示を行う場合に於いては、テクニカルタイムアウトが終了後に改めてタイムアウトコールをする。

○試合球

今年度はモルテン・小学生バレーボール軽量4号検定球を使用する。

以上、簡単な審判マニュアルです。

子どもたちに正しい試合運びを教えるために、まず、指導する側がルールをマスターすることが大切です。

ソフトボール試合方法および注意事項

※ 競技規則 2019年度日本ソフトボール協会のオフィシャルルールを適用する。

※ 試合方法

1. 最長7回とし、50分を越えて新しいイニングに入らない。但し、当該イニングは最後まで行う。
2. DP・DEFOは採用しない。リエントリーは採用する。
3. 延長について
7回終了時点で50分を超えていない場合はタイムブレーカーを採用する。
タイムブレーカーによる延長は最大2回までとし、前回の最終打者による無死2塁から始める。
それでも試合が決定できない場合は、最終出場選手(打順)9名のくじ引きによって決める。
決勝戦についても**50分**とし、同点の場合は最大2回までのタイムブレーカーによる延長を行い、尚も同点の場合は上記と同様とする。
4. 試合はトーナメント方式で行う。審判についてはトーナメント表により行う。

※ チーム編成 チーム編成は監督1名、コーチ2名、選手15名(控え選手を含む)とする。

※ 審判 本塁審判は主催者の委託を受けた者が就く。
塁審は各チームより1名、得点係は本部が担当する。

※ 試合球 ソフトボール検定2号球

※ ヘルメット 危険防止の為打者、走者、次打者、ベースコーチ、捕手は着用すること。

※ バット ソフトボール検定2号バット(但し、1号バットも可)

※ 捕手のマスク スロートガード付マスクを着用しなければならない。
投球練習にてキャッチングを行う指導者も全て同様とする。

※ グラウンド整備 直前の試合終了した各チーム3名で行う。

※ ローカルルール

1. 試合開始20分前までにメンバー表(打順表)4部を、本部に提出する。
2. 先攻・後攻は、コイントスで決める。
3. 境界線(オーバースローライン)近くのフライボールは、野手の体が境界線内に残っていれば捕球とみなす。(野手の両足が境界線内または線上にあればよい)
境界線から片足でも完全に出来ればファウルボールとし、ボールデットとなる。
4. ランナーコーチは選手とする。(監督・コーチ・指導者は認めない)
5. その他
 - ① シートノックは、第1回目の試合前にもみ5分間とする。
 - ② ファウルボールはベンチサイドで拾う。
 - ③ 攻守の交替は、駆け足で速やかに行う。
 - ④ 靴は、運動靴または樹脂スパイクシューズとする。
 - ⑤ 開催グラウンドにより、競技場特別ルールを設定する。
 - ⑥ 試合中、ルールについて質疑が生じた場合は審判員の合議により決定する。
 - ⑦ **作戦タイムは、1試合1チーム1回1分を超えない。**

※ 注意事項

1. スポーツマン精神に反する行為を監督・コーチ・プレーヤー等がしたとき、目に余る行為や野次・暴言・醜態(チーム関係者・応援も含む)は、当該試合没収も視野にいれて対処する。
2. 競技開始後は休憩時(試合待ち、昼食)などで、グラウンドが空いてもグラウンド内での練習は禁止する。
3. ユニフォームは揃えること。連合チームでやむを得ずユニフォームを揃えられない場合はこの限りでない。但し背番号は重複しないこと。

お願い!! 全ての選手の健全な成長と育成の為に良いプレーには敵味方関係のない拍手と応援をお願いします。

リエントリー(再出場)とは

スターティングプレーヤーが、正しく交替した後、1度に限り、再び試合に戻ることをいう。但し、選手が再出場する場合は、

自分の「元の打順を受け継いだプレーヤーと交替しなければならない」

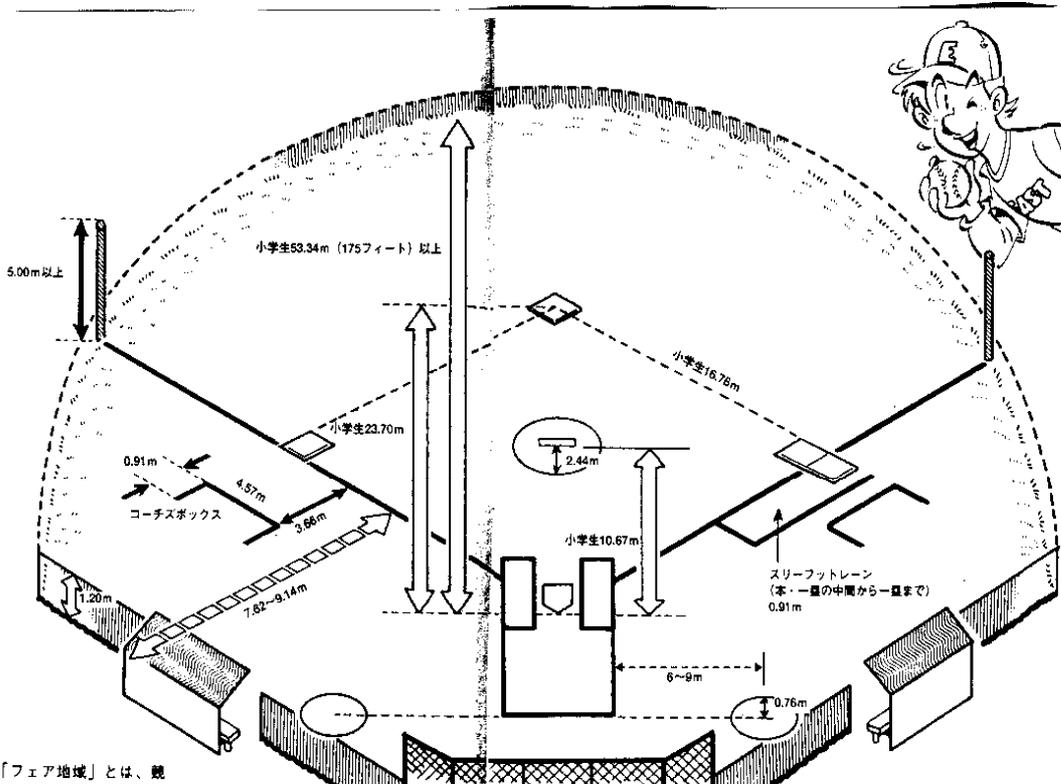
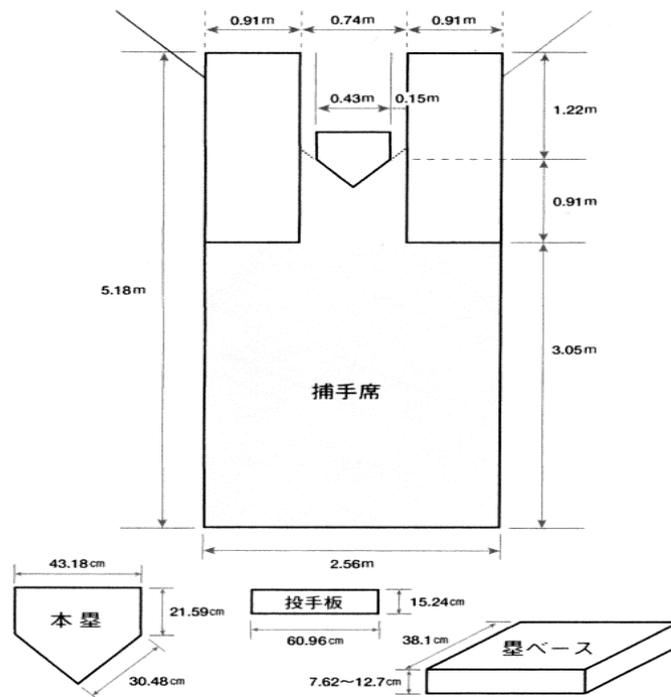
例

| 打順 | スターティングプレーヤー | 交替選手 | 交替選手 | スターティングプレーヤーが再出場する時 | 正・誤 |
|----|--------------|------------|------------|---------------------|-----|
| 1 | A | | | F (A とは交替できない) | × |
| 2 | B | J (B と交替) | L (J と交替) | B (L と交替) | ○ |
| 3 | C | | | | |
| 4 | D | | | B (D とは交替できない) | × |
| 5 | E | | | | |
| 6 | F | K (F と交替) | | F (K と交替) | ○ |
| 7 | G | | | | |
| 8 | H | | | | |
| 9 | I | | | | |

代打のみに J、K、の選手が出場し、次の守備から B、F の選手が再出場することもできる。

J、K、L の選手はスターティングプレーヤーではないため再出場できない。

B、F の選手が 2 度目に交代すると、以後その試合には出場できない。



* 「フェア地域」とは、競技場の一部分であって、本塁から一塁及び三塁を通過して競技場のフェンスの下端まで引いた直線と、その線に垂直な上方空間との内側の部分をいう。
 * 「ファウル地域」とは、競技場の一部分で、フェア地域以外の部分をいう。

* 「外野」とは、内野手の通常の守備地域を除く、三塁及び一塁後方のファウルラインと境界線の内側の部分をいう。
 * 「内野」とは、内野手が普通の守備をするフェア地域内の部分をいう。

キックベースボール試合方法及び注意事項

競技規則 姫路市子ども会連合会キックベースボール競技規則による

競技方法 参加チーム数により試合方法を決定する

- ① 小ブロックでの総当たり
- ② 全チームによりトーナメント

出場チーム 姫路市子ども会連合会の会員で有り、各ブロックを勝ち抜いたチーム

エントリー 1チーム・10名以上15名以下とする

試合指導者 監督1名 コーチ2名とする

審判 主審は主催者の委託を受けた者が就く。塁審・外野審・記録係は直前に試合の終了した各チームより3名が担当する。

試合球 JFBA 公認試合球 2号

コート 競技規則による。尚、会場の広さ形状により変更する。

試合

- ・1試合 7回若しくは45分を過ぎて新しいイニングに入らない
- ・同点で終了した場合は抽選を行う
- ・抽選は最終打者の次打者からチーム交互にくじを引く
- ・全員が引き終わってから当選数で勝敗を決定する
- ・リエントリーは無い
- ・シューズ、着衣の確認を双方の監督及び審判にて試合前に行う。
- ・試合には番号入りピブスを貸与する事が有る。
 - ・審判は推進委員2名とチーム各2名で行い、内2名は得点及びタイムキーパーとする。
- ・試合終了後両チームにて整地を行う。
- ・試合前までに運営側が用意したメンバー表を打順を記載し相手チーム、記録審判員、自陣チームの3枚用意する。

グラウンド整備 直前に試合終了した各チーム2名で行う。

ローカルルール

- ・先攻後攻は審判が事前に招集し、キャプテンのジャンケンで決定する
- ・第二試合以降で、対戦チームが試合中の場合は試合が終了の後に招集する
- ・審判は試合の進行上危険を伴う場合は笛などを使用し試合を中断する
- ・試合中の相手チーム・選手・審判に対する野次、暴言に付いては注意一回に付き相手チームに1得点を与える。
- ・野次、暴言に対するペナルティは同チーム2回で没収試合とする。
尚ペナルティについては指導者・選手・応援者全てにおいて適応される。
- ・得失点差が同点の場合は、ジャンケンで順位を決定する。

お願い キックベースを行うに当たり、全ての選手の健全な成長と育成の為に
良いプレーには敵味方関係のない拍手と応援をお願いします。